

# 出雲の小学生ら特別賞

## 日本顕微鏡学会写真コン

### 米子市児童文化センターで撮影 ミニトマトの腺毛捉える



特別賞を受賞した椋さん(左)と稲賀さん=米子市西町

2019年度日本顕微鏡学会写真コンクールで、米子市児童文化センター(同市西町)の走査電子顕微鏡で撮影された作品が特別賞に輝いた。受賞作は、出雲市の椋千晶さん(9)＝塩治小3年＝と、同学会の会員で鳥取大学医学部非常勤講師の稲賀すみれさん(67)らの

共同作品「小さなしあわせ、み〜つけた!」。ミニトマトの腺毛を鮮やかに捉えて、小学生の受賞は初めてという。

きっかけは昨年、椋さんが取り組んだ自由研究。自宅でミニトマトを栽培したところ、まだ実が付いていないのにトマトの匂いがしたことを疑問に思い、調べ

始めた。虫眼鏡や光学顕微鏡で観察後、同センターに鉢を持ち込み、走査電子顕微鏡でがくを観察すると、200倍で匂いの元となる腺毛の構造が確認された。

椋さんは「光学顕微鏡では丸い水滴のように見えたものが、実は四つ葉のクローバーの形だったからびっくりした。もっと顕微鏡を使って、いろいろな植物の匂いの秘密を調べたい」と意欲的。母の美和さん(43)は「今は調べる手段に恵まれた時代。これからも疑問に思ったことをどんどん追求してほしい」と話す。

稲賀さんは「ここまできれいな画像は研究者でもなかなか撮れない。最大のポイントは何度も鉢ごと持ってきてすぐに観察したことと、椋さんのそれまでの努力が結び付き、幸運をつかめた」と受賞を喜ぶ。

同センターの走査電子顕微鏡は昨年、米子市出身の研究者を顕彰しようと「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力が寄贈した。(今井理恵子)



受賞作品「小さなしあわせ、み〜つけた!」

「小さなしあわせ、み〜つけた!」  
What a lovely little happiness!  
椋千晶¹, 稲賀すみれ², 市川薫³, 高木幸太³  
¹出雲市立米子小学校, ²鳥取大学医学部, ³株式会社日立ハイテクノロジーズ  
CHIRAKI HIRUKI¹, INAGAKI SUMIRE², IKAWA IKUMI³, TAKAKI YUKIYUKI³  
¹Chiraki Hironori, ²Inagaki Sumire, ³Takaki Yuki  
¹Chiraki Hironori, ²Inagaki Sumire, ³Takaki Yuki  
¹Chiraki Hironori, ²Inagaki Sumire, ³Takaki Yuki